

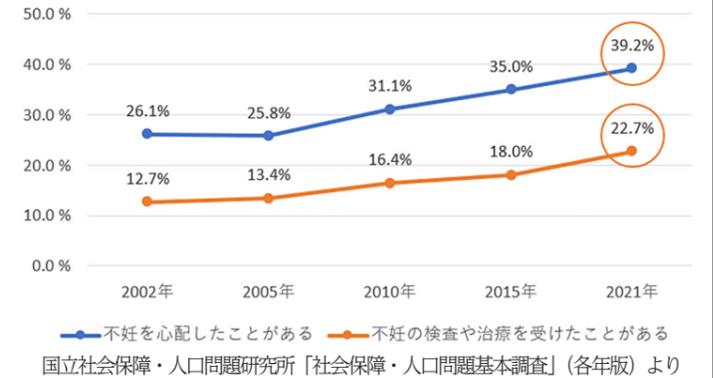
Everyone's dispensary

みんなの保健室

今や不妊症はめずらしいことではなく、子どもを持ちたいと考える人の多くが一度は直面する悩みといっても過言ではありません。当事者でなかったとしても、周りに不妊治療を受けている人がいるかもしれませんし、また、若い人にとっては将来直面するかもしれないことです。

不妊治療について

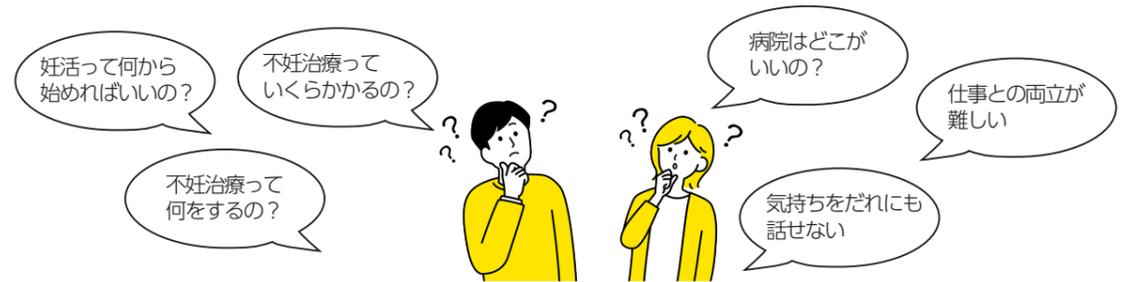
日本では39.2%、約3組に1組の夫婦が不妊に悩んだ経験をもっていて、実際に不妊の検査や治療を受けたことがある夫婦は22.7%、約5組に1組といわれています。また、2021年に体外受精で生まれた赤ちゃんは、6万9797人で、約12人に1人は、生殖補助医療によって生まれた赤ちゃんです。2022年から保険適用が始まり、不妊治療を受ける人はさらに増える見込みです。



不妊治療は経済的な負担や身体的な負担だけでなく、周囲の人たちに不妊や不妊治療について理解されないことによる精神的な負担も少なくありません。働きながら治療を受ける人も多くいますが、仕事との両立が難しく離職する人も多くいます。

こうした状況の改善に向け、こども家庭庁を中心に不妊症への相談支援の強化や、正しい情報の周知・広報が行われています。健康推進課でも、妊娠について考えはじめた人、妊活中の人、不妊治療をしている人の相談窓口を開設しています。

また、雄武町では不妊治療の医療費や交通費の一部を助成する事業を行っています。詳しくは、雄武町公式ホームページをご覧ください。



相談方法 対面、電話、メール

相談場所 ご自宅などご希望の場所でもご相談をお受けできます。

予約方法 電話、メール、雄武町公式 LINE 相談予約

健康推進課保健係

☎ 0158 - 84 - 2023

E-Mail suisin@town.oumu.hokkaido.jp



「妊活応援事業」



「先進不妊治療
費助成事業」



雄武町公式 LINE
QR コード

Activity Report

地域おこし協力隊 ～活動レポート～



地域おこし協力隊
ICT支援員
白幡 諒さん

雄武町での生活が半年を経過しました。今回は個人的ハイライトと地域おこし協力隊の活動の話を書きたいと思います。

まず、個人的ハイライトとして、雄武町の学校給食が美味しいという話です。

基本的に中学校常駐のため、お昼は先生方と一緒に給食をいただいています。大人になってから好き嫌いがなくなったおかげで、自分が中学生だった頃よりも給食が楽しく感じます。雄武町地域おこし協力隊の中で唯一学校ICT支援員の私だけが経験できていることです。

次に、活動についてのお話しなのですが、地域おこし協力隊のICT支援員として中学校を中心に活動していますが、学校以外にもどこか

皆さんのお役に立てないか考えています。まずはじめに「スマホ・パソコン相談室」を実施したいと思っています。只今勉強中です。開催が決まったときには、お気軽に来ていただくと幸いです。

◆パソコンが苦手・使い慣れない人へのサポートコーナー(仮)

2 ◆※タイトル募集中

今回は、ローマ字入力についてお教えします。

例えば「らっきょ」は①「RAX TUKIYUO」②「RAKKYUO」と入力できます。このように小さい「つ」を入力したいときは、①のようにXTU(もしくはLTU)と入力するよりも、②のように「KK」と子音を2回押したほうが入力数が少なく楽です。「ローマ字入力一覧表」とインターネットで調べると入力方法などが詳しくできます。最近マウスパッドに一覧表が印刷されている物も百円ショップなどにあるので、ローマ字入力初心者・苦手な人にはオススメです。ぜひご利用してみてください。

※地域おこし協力隊でのコーナーを順番に担当しています。お楽しみに。

Kids

わんぱくキッズ(若草保育所)～おおきになったら～



トリンクの運動手

てるい
れんとくん



おんがく

たかの
とうやくん

